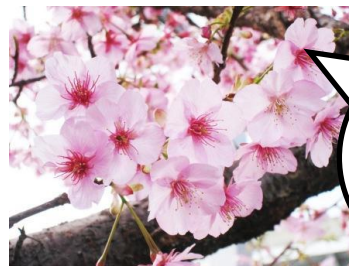


やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただくと嬉しいです。今月も美味しいもの満載でお届けします～。



石巻はこれから桜の季節。満開は22日頃だそうです。

「うんめえもん市応援団！」 応援ファイル NO.2 都筑区役所 宮本正彦さん

うんめえもん市の活動を陰で支えてくださっている方々に応援メッセージを頂くコーナーです。4月は都筑区役所の宮本正彦さんです。都筑区は区役所販売の中でも断トツの売り上げをあげているのですが、それは、なんととっても宮本さんの協力あつての事なのです。みなさんの応援が私達の原動力です！！

以前の職場で若者自立支援にほんの少しだけ関わっていたというご縁で、被災地復興支援と若者自立支援とをコラボさせたこの取組に出会い、都筑区役所での「うんめえもん市」開催のお手伝いをさせていただいています。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではありませんが、特に被災地から距離のある私たちは、時の経過とともに、マスコミ報道の取扱の減少とともに、記憶が薄らぎつつあります。また、長期にわたる経済の停滞、社会全体を覆う閉塞感の中で、課題を抱える若者のことを「みんな同じさ」と埋没させつつあります。



うんめえもん市応援隊
宣伝班 雲盟 紋市
(うんめいもんいち)

決して一過性の出来事で終わらせてはいけないことが日々のめまぐるしい生活の中で風化していくことは、ある意味避けられないことかもしれません。だからこそ、「忘れないこと、続けること、進化すること」を標榜することが大事なんです。

うんめえもん市の素晴らしさは、忘れないため、忘れさせないために、日々の生活の重要なパートである「食」に着目したところだと私は思っています。生活に追われて忘れられてしまうのなら、生活に密着して記憶を呼び覚まそうという逆転の発想です。

(民の発想は素晴らしいですね。) だからこそ、品質が大事なんです。食材にこだわる現地の方、味や彩、食感等のバランスに配慮し、研究に余念のない横浜のスタッフ・・・品質を保ち続け、進化するうんめえもん市の

商品は着実に私たちの食生活に根付いてきています。

うんめえもん市で商品を購入した人が、それを食することで被災地石巻に思いを馳せ、それに携わっている若者たちに心を寄せる・・・ここまではある程度成功してきました。都筑区役所でも「うんめえもん市で買った〇〇がおいしかった」から始まり「石巻はどういう状況なの?」、「これも若者たちが作っているの?」という会話が普通に聞こえてくるようになりました。

これからは「思い」をいかに進化、深化させていけるかだと思います。商品の背景にある現地石巻の人たちの生活、現地であるいは横浜で活動する若者たちの生活をどこまで伝えられるか、それに共感してもらえるかが課題だと思っています。

この事業のパートナーの一人として、一緒に考え、進化させていきましょう！



うんめえもん市応援
宣伝班 石野 まき



うんめえもん市@つづき応援隊長

宮本正彦

クローズアップ ISHINOMAKI VOL.3 ～石巻現地スタッフからのメッセージ～

先日 K2 石巻スタッフの元に一本の電話がありました。

「チラシに書いてある仮設内デリバリーします！という内容は、仮設住まいの人ばかりを優遇していて、それ以外の家に住んでいる人に対してはどう思っているのですか？」と、その方は言われました。

昨年の3月からこの一年間、移動式居酒屋ころ蛸として、キッチンカーでたこ焼き・焼き鳥の販売をしながら仮設住宅団地をまわってきました。石巻市内にあるどの仮設住宅団地も男性のコミュニティー形成が課題になっていたために、一杯飲める場所を作って男性が出てくるきっかけ作りのために始めた移動販売支援。

夏はお客さんでいっぱいになり、そこから新しい繋がりが生まれていましたが、やはり東北の寒さは厳しく、この冬は注文したものを外で食べたり待っていたりすることが出来ない状態となったので、ころ蛸では注文が入ると出来上がったら仮設内のご自宅にお届けするというサービスをしていました。そんな中でかかってきた電話でした。電話をくださった方は仮設に入ることが出来ずに、ある仮設住宅団地のそばに家を建てて住まれている方でした。

「テレビなどでも仮設の人ばかりが取り上げられ、それ以外の自分たちは何も報道されず、普通に生活していると思われているが、自分には職があったので他の職を失った方に仮設住宅を譲って、自分は借金して家に住んでいる。仮設の方も辛いだろうけど、自分たちもとことん切り詰めて何とか生活している状態だということを知って欲しい。」

震災から3年目。TVなどで映し出される着々と進む復興の様子とは裏腹に、石巻では被災された方々一人一人が様々な思いを抱えて今も生活を送っています。K2グループでは3年目を迎えた石巻と共にどう歩いていくかを皆様と一緒に考えて行動していきたいと思っています。

☆石巻の住人になりつつある スタッフ福島 竜☆

うんめえもん市×若者就労支援

㈱うんめえもん市の社員1年生、吉田麻衣子です。私は会社員として働いていた時期もありましたが、その後1年半ほど引きこもり、先の見えない生活をしていました。

3・11の震災は私にとって一つのきっかけとなりました。自分自身のリハビリ的な意味もあり、また被災地の力になりたいと考え続け、K2グループで実施する石巻長期滞在プログラムに参加しました。石巻で3ヶ月の間、共同生活をしながら石巻の復興支援に関わる事ができ、地元の方々に受け入れられ、自分が何か役に立っているという実感をする事ができ、とても大切な経験になりました。その後、横浜でうんめえもん市の販売スタッフとして職業訓練を続け、そして今年2月、㈱うんめえもん市の社員として採用していただきました。

3月イベントはとてもめまぐるしい毎日でした。様々な復興イベントなどにも参加させていただき、石巻でお世話になった漁師さんや玉井さんと、今度は横浜で一緒にうんめえもん市の販売ができ、なんと月商400万円の目標を達成する事も出来ました。3・11当初引きこもりニートだった自分が、石巻の皆さん・うんめえもんスタッフ・ご協力していただいた皆様・そしてお客様…、たくさんの人と関わりを持ち、目標を達成する現場にいられたこと、本当に嬉しく思います。この事業に携わる中で、人と人とのつながりを強く感じる事が出来ました。自分自身まだまだ多くの課題を抱えていますが、復興支援を通じて皆と一緒に成長していけるよう今後も頑張っていきます。これからもどうぞ応援よろしくお願いします。

店頭で吉田を見かけたら是非声をかけてください！

☆うんめえもん市スタッフ 吉田 麻衣子☆

◆うんめえもん市 5月開催予定◆

- 1日(水)旭区役所(11:00~14:00)、3日(金・祝)~6日(月・祝)日本丸メモリアルパーク(10:00~16:00)
- 11日(土)K2ビル1階(10:00~14:00)、キッチンカー(8:00~18:00)/2013世界トライアスロンシリーズ(山下公園)
- 12日(日)キッチンカー(8:00~15:00)/2013世界トライアスロンシリーズ(山下公園)
- 13日(月)金沢区役所(11:00~14:00)、20日(月)横浜市役所(本庁舎1階)(11:00~14:00)
- 26日(日)かながわ湊フェスタ(10:00~15:30)/横浜市民防災センター(沢渡中央公園)
- 28日(火)磯子区役所(11:00~14:00)、30日(木)都筑区役所(11:00~15:00)

※予定は変更されることがあります。詳しくは事務局までお問い合わせください。



チアッキー

やっぺず通信発行元

NPO ヒューマンフェローシップ

うんめえもん市事務局 TEL045-762-1435(田上・亀山)